

平成 30 年度 バレーボール専門部 報告書

専門部長 山口 義民

専門委員長 瀬戸 隆英

(専門委員)

石原峰雄 (佐賀工)、江頭辰弥 (牛津高) 久保温子 (有田工)

江口祐一郎 (鳥栖高)、池田 厚志 (鹿島高)

1. はじめに

日頃より、各学校バレーボール部顧問の先生方や佐賀県バレーボール協会、佐賀県高体連のみなさまには、多大なるご協力いただき、心から感謝申し上げます。特に、統廃合や選手不足などにより、チーム数が減少し、顧問の先生方への負担が増えてしまいました。そのような中でも運営に快く協力していただき、ありがとうございました。

2. 大会を振り返って

(1) 新人大会 平成 30 年 1 月 20 日・21 日

全日本選手権大会 (春高) 終了から短い日程での開催だったが、大きなトラブルもなく終了することができた。男子は佐賀商が接戦をものにし、層の厚さを感じさせた。1 位佐賀商、2 位佐学高、3 位鳥栖高、3 位多久高。女子は清和高が他を寄せ付けず圧倒した。1 位清和高、2 位佐賀北、3 位鹿島実、3 位鳥栖商となった。上位 4 チームは沖縄で行われた九州大会に出場し、清和高の奮闘が光り、強豪ひしめく九州でのベスト 4 進出を果たした。沖縄開催ということもあり、移動や宿泊でのトラブルが多く苦慮させられた。

(2) 小城観桜兼九州総合 平成 30 年 4 月 21 日・22 日

入学式の日程が遅く、新入生の出場が難しいという点から、今年度も 1 週間遅らせて大会を開催した。男子は、上位 4 校が新人戦と同じ結果となり、決勝戦では佐学高が佐賀商との接戦を制し優勝した。女子も、男子同様上位 4 校が新人戦と同じ結果となった。

清和高が優勝を果たしたが、2 位の鳥栖商業がフルセットの闘いを演じた。

続く九州大会では、女子の佐賀清和が九州文化学園を準決勝で破り、準優勝を果たした。

(3) 高校総体 平成 30 年 6 月 1 日・2 日・3 日

男子では、数年ぶりに佐賀工がベスト 4 に進出し、リーグ戦においても存在感を示した。ベスト 8 までのシード校は順当に勝ち残った。決勝戦では、全日本ユース代表としてアジアユースでベストセッターに選ばれた佐学高の糸山が伸びのあるトスを左右に振り分け、佐賀商のブロックを崩した。また、高さで勝負したい佐賀商は、エース中川原にボールを集めたが、総合力で勝る佐学高が優勝した。全国・九州でも期待されたが、怪我等により、万全の態勢で臨めず、悔しい結果となった。女子では、前回と同じリーグの顔ぶれとなった。この大会から統廃合に伴う合同チームが 2 校出場し、鹿島実・鹿島新が第 2 シードの鳥栖商に勝利した。今年度、安定した力を九州大会でも発揮している清和高が他を寄せ付けず、3 連勝で優勝を果たした。九州大会では、女子の佐賀清和が順当に勝ち上がり、ベスト 4 進出を果たし、全国大会においても、高さに巧さを加え、佐賀県女子初となるインターハイベスト 8 進出を達成した。

(4) 全日本選手権 : 通称 (春高) 平成 30 年 11 月 10 日・11 日・18 日

男子では、ベスト 8 で、武雄高校が塩田工・嬉野新に敗れ、シードを崩した以外は順当に駒を進めた。決勝戦は、佐賀学園と佐賀商業の 7 年連続同一カードとなった。好ゲームが期待される中、佐賀商業のスーパーエース中川原が前日練習で怪我をするアクシデントがあり、誰もが佐賀学園の圧倒的有利と思われた。しかし、エース中心から全員コンビバレーに戦術を変え、試合はフルセットにもつれ込む展開となった。佐賀学園は、U 18 日本代表として、アジア選手権ベストセッター賞を受賞した糸山を中心に堅い守りと速いトス回しで試合を優位に進めていった。エース本村、サイドの高祖、ミドルの南谷を中心に組み立て、バリエーション豊富な攻撃を展開した。最終セット、佐賀学園が前半からサーブとブロックでリードを奪うと、佐賀商業ミドルの高尾、サイドの藤瀬、エースの竹中がコンビで追いつき、終盤までもつれる展開となった。しかし、最後は佐賀学園の最大の武器である、ライト平行トスをエース本村にあずけ、勝負を決定した。

女子では、ベスト 8、ベスト 4 までインターハイ同様の顔ぶれとなり、決勝戦は、インターハイベスト 8 の佐賀清和と鳥栖商業の 4 年連続同一カードとなった。1 セット目、佐賀清和はセッター南里を中心とした幅広い攻撃を見せ流れをつかむ。鳥栖商業は終盤、樋渡のブロックなどで一時同点に追いつくも、最後は佐賀清和が粘る鳥栖商業を振り切った。2 セット目、序盤から佐賀清和は軟打を有効に使いペースを握ると、流れを渡すことなくセットを奪った。3 セット目、鳥栖商業は持ち前の粘り強いレシーブを見せ長いラリーに持ち込むも、丸岡の強打などで佐賀清和がラリーを制し、4 年連続の優勝を決めた。

3. 最後に

今年度は、チーム・個人にとって明るい話題が多かった。チームとしては、女子の佐賀清和高校が、平成 29 年度 第 28 回全九州選抜高等学校バレーボール大会で第 3 位、第 63 回全九州バレーボール総合選手権大会で準優勝、平成 30 年度全九州高等学校体育大会で第 3 位という強豪ひしめく九州で素晴らしい成績を残した。また、平成 30 年度全国高等学校総合体育大会でベスト 8 となり、これは佐賀県女子で史上初の快挙となった。今後行われる春高バレーにおいても非常に楽しみである。

また、男子としても、国体選抜チームが九州ブロックを勝ち上がり、本国体への出場を決めた。非常に期待された大会であったが、残念ながら実力を出し切ることなく敗退した。

個人としては、佐賀学園高校 3 年の糸山大賀が U 1 8 日本代表に選出され、第 12 回アジアユース男子選手権大会に出場し、見事優勝を果たした。個人賞として、ベストセッター賞に選ばれる快挙も同時に果たした。また、佐賀商業高校 2 年の中川原将太が全国高体連主催の長身選手発掘育成合宿において計測したバレーボール指数（身長やジャンプ力など）で全国 1 位となるなど、今後の活躍が楽しみである。

運営面としては、市村記念体育館の運動施設利用がなくなり、十分な運営ができる体育館を失った。佐賀県は体育館が極めて少なく、この現状を多くの人に知ってもらいたい。スポーツの楽しみ方が多様化し、「する」と「みる」のニーズへの対応が難しい。また、「支える」スタッフの減少も重なり、これからの運営方法の大きな転換点に来ていると考えている。その中においても、高体連をはじめ、専門部委員や専門部の先生方、佐賀県バレーボール協会のご協力を得て、今年度大会を終えることができました。

平成29年度佐賀県高等学校新人バレーボール大会

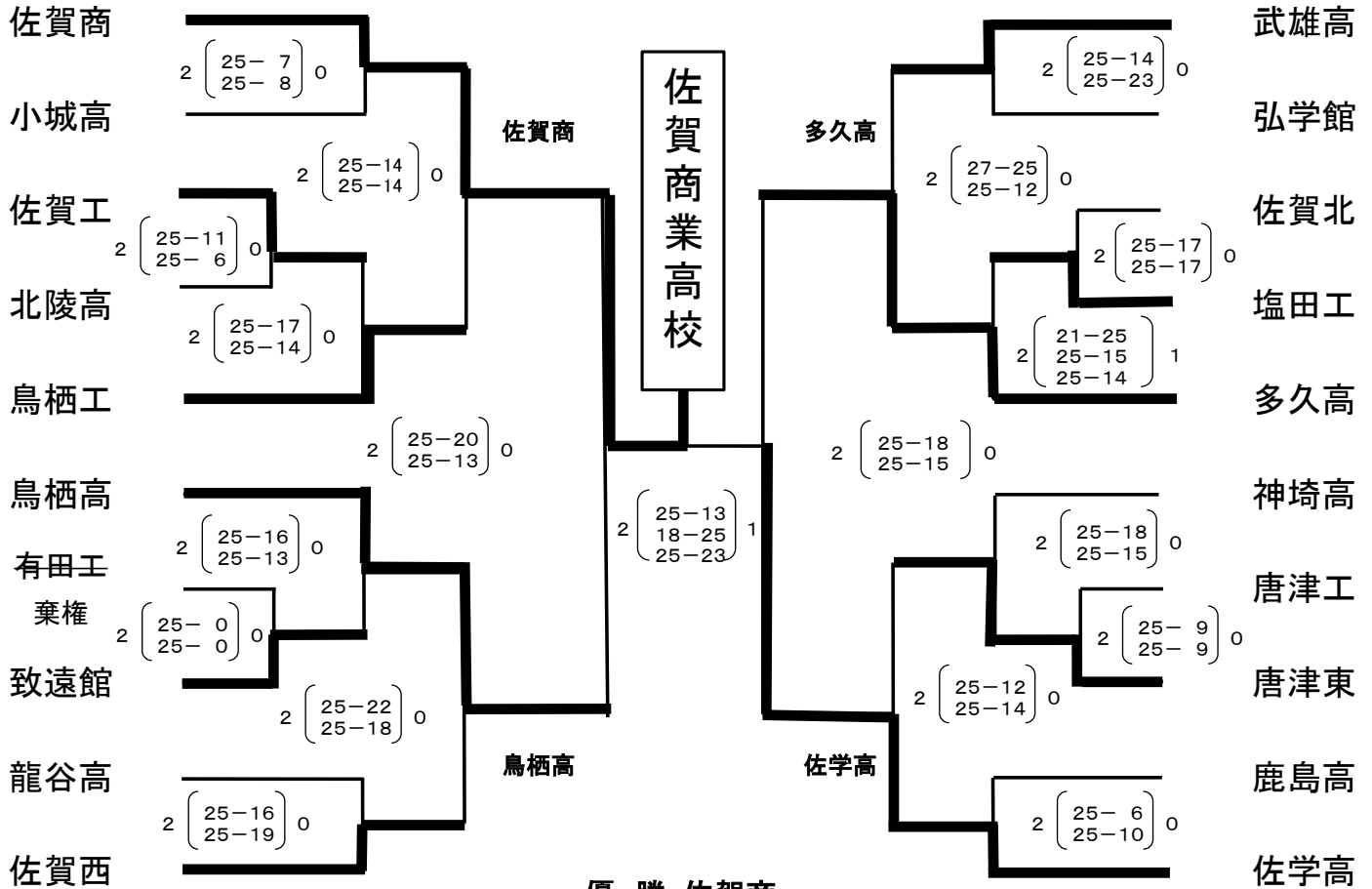
【 男子 】

平成30年1月20日(土) 9時30分、1月21日(日)9時30分

1月20日(土)

1月21日(日)

1月20日(土)

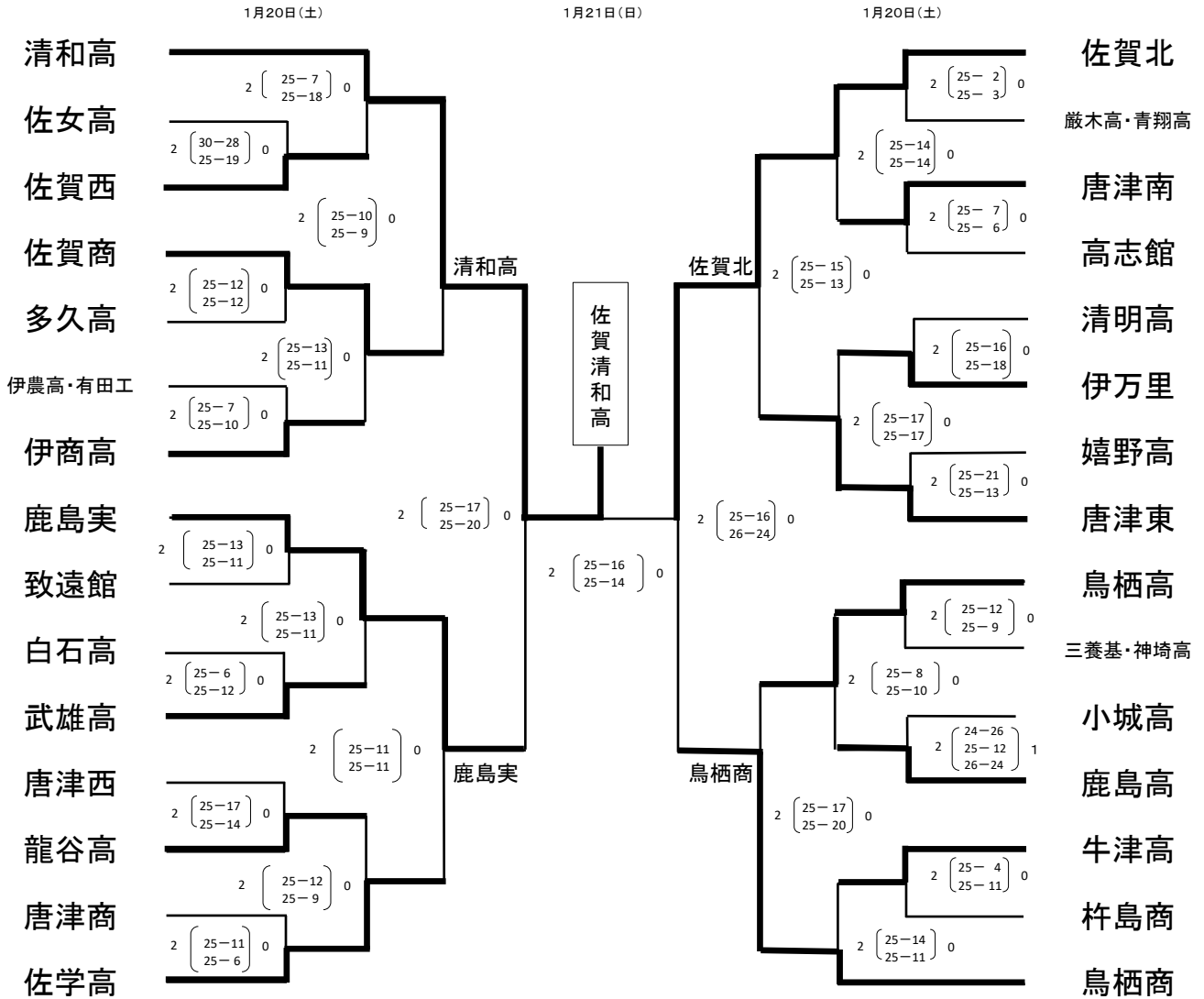


優勝:佐賀商
 第2位:佐学高
 第3位:鳥栖高
 第3位:多久高

平成29年度佐賀県高等学校新人バレーボール大会

【女子】

平成30年1月20日(土) 9時30分、1月21日(日)9時30分



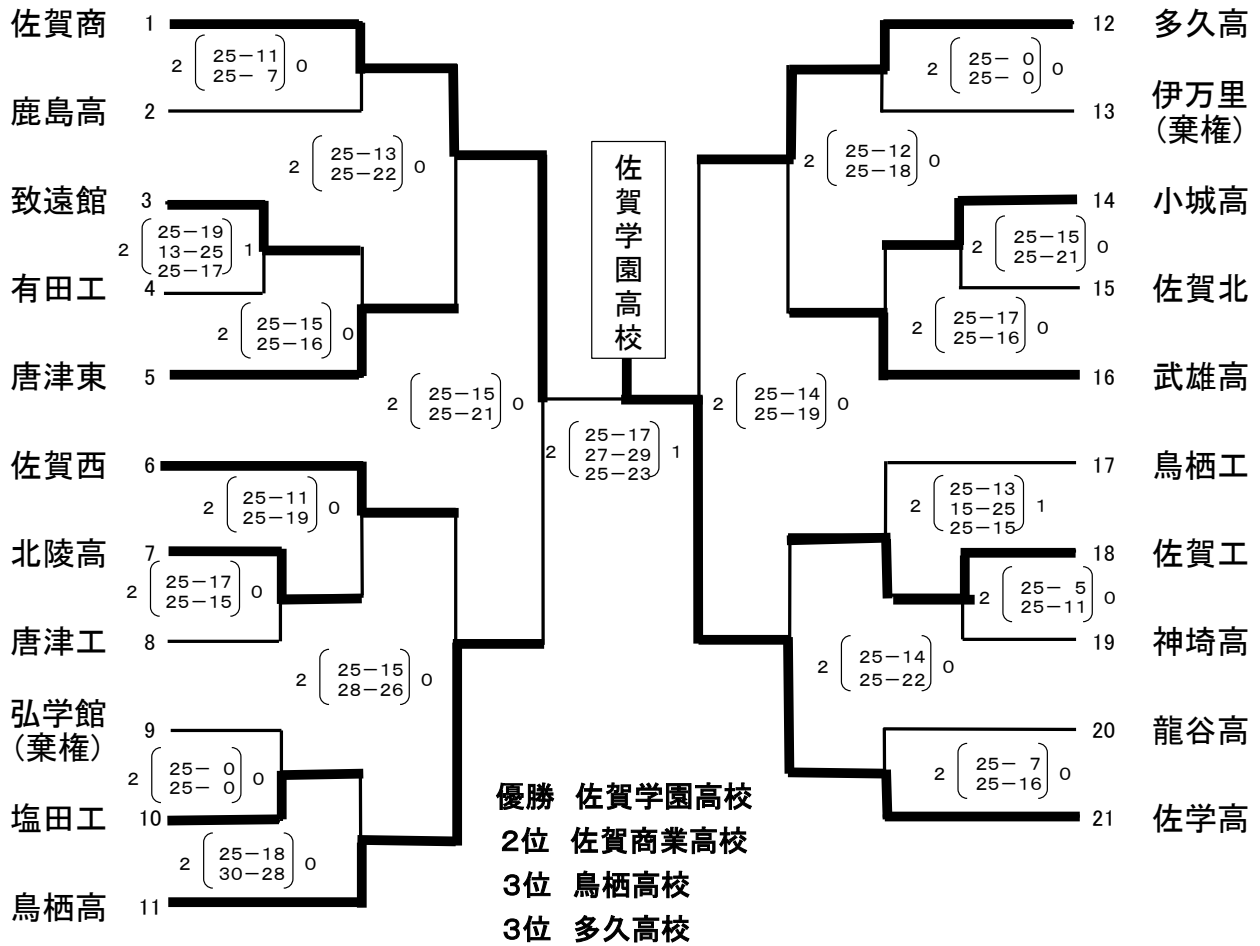
- 第1位 佐賀清和高等学校
- 第2位 佐賀北高等学校
- 第3位 鹿島実業高等学校
- 第3位 鳥栖商業高等学校

第72回小城観桜大会 兼
第63回全九州バレーボール総合選手権大会佐賀県予選会

【 男 子 】

平成30年4月21日(土) 9時30分 プロトコール

4月22日(日) 9時30分 プロトコール

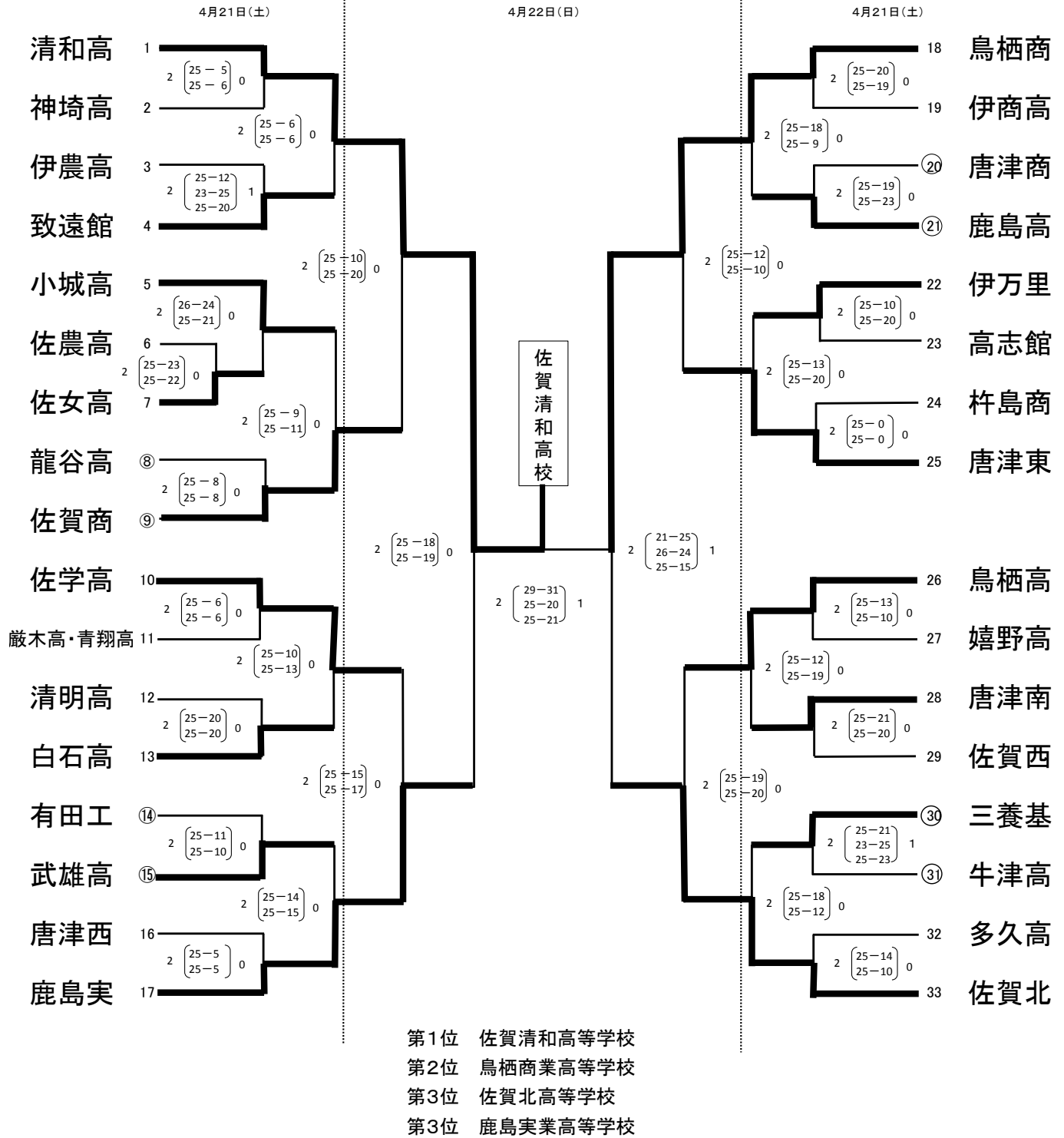


第72回小城観桜大会 兼
第63回全九州バレーボール総合選手権大会佐賀県予選会

【女子】

平成30年4月21日(土) 9時00分 プロトコール

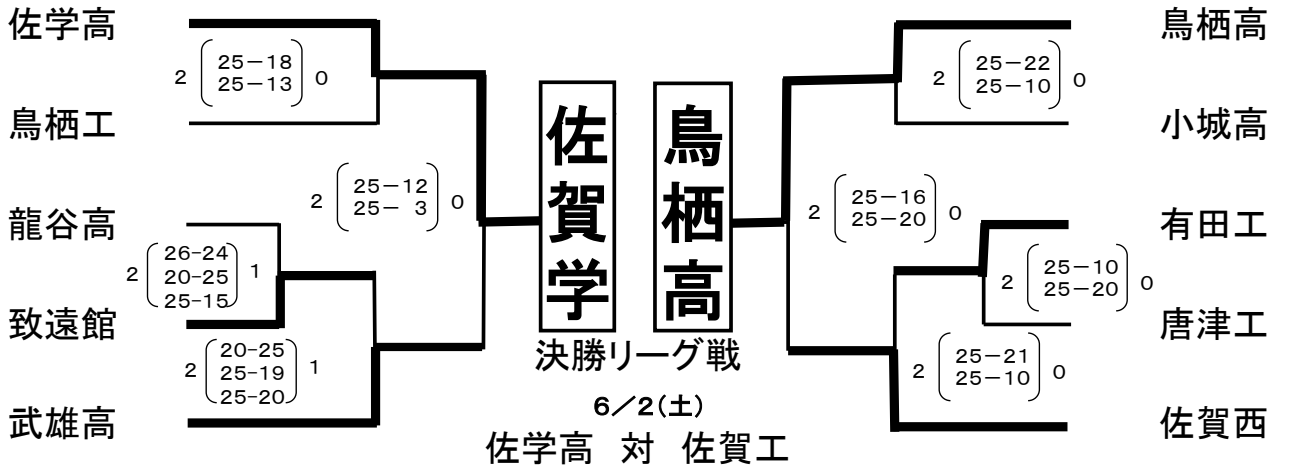
4月22日(日) 9時30分 プロトコール



平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会バレーボール競技

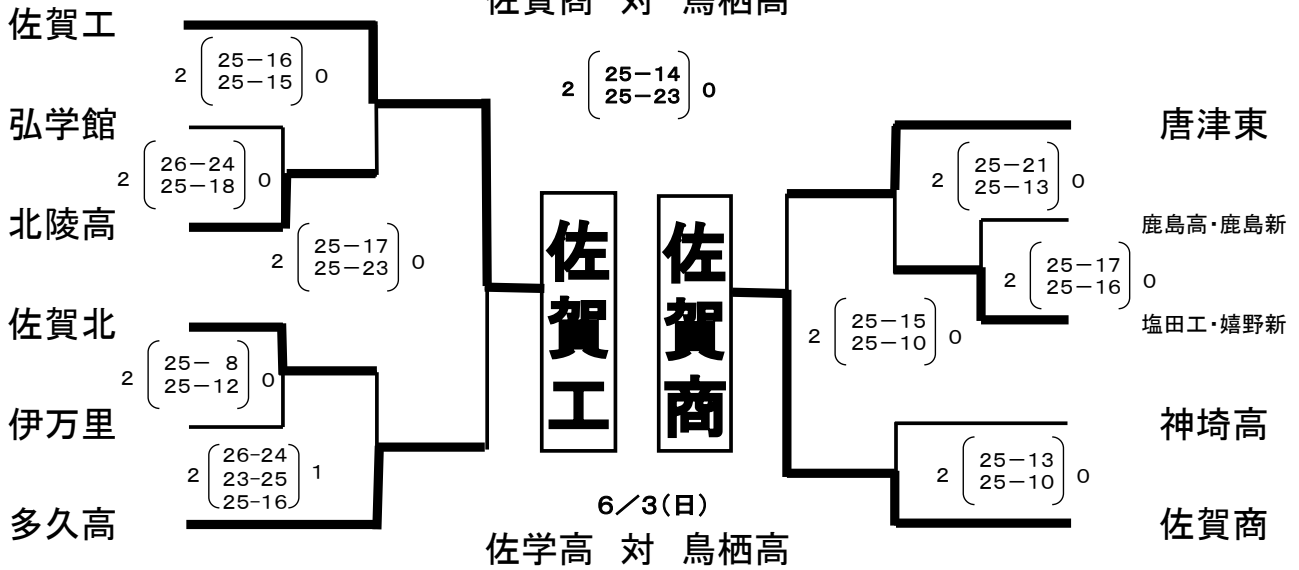
【 男 子 】

6月1日(金) 2日(土) 3日(日) 2日(土) 6月1日(金)



2 (25-13 / 25-10) 0

佐賀商 対 鳥栖高



2 (25-14 / 25-9) 0

佐賀商 対 佐賀工

1位 佐賀学園

2 (25-22 / 25-22) 0

2位 佐賀商業

佐賀工 対 鳥栖高

3位 佐賀工業

2 (25-21 / 25-14) 0

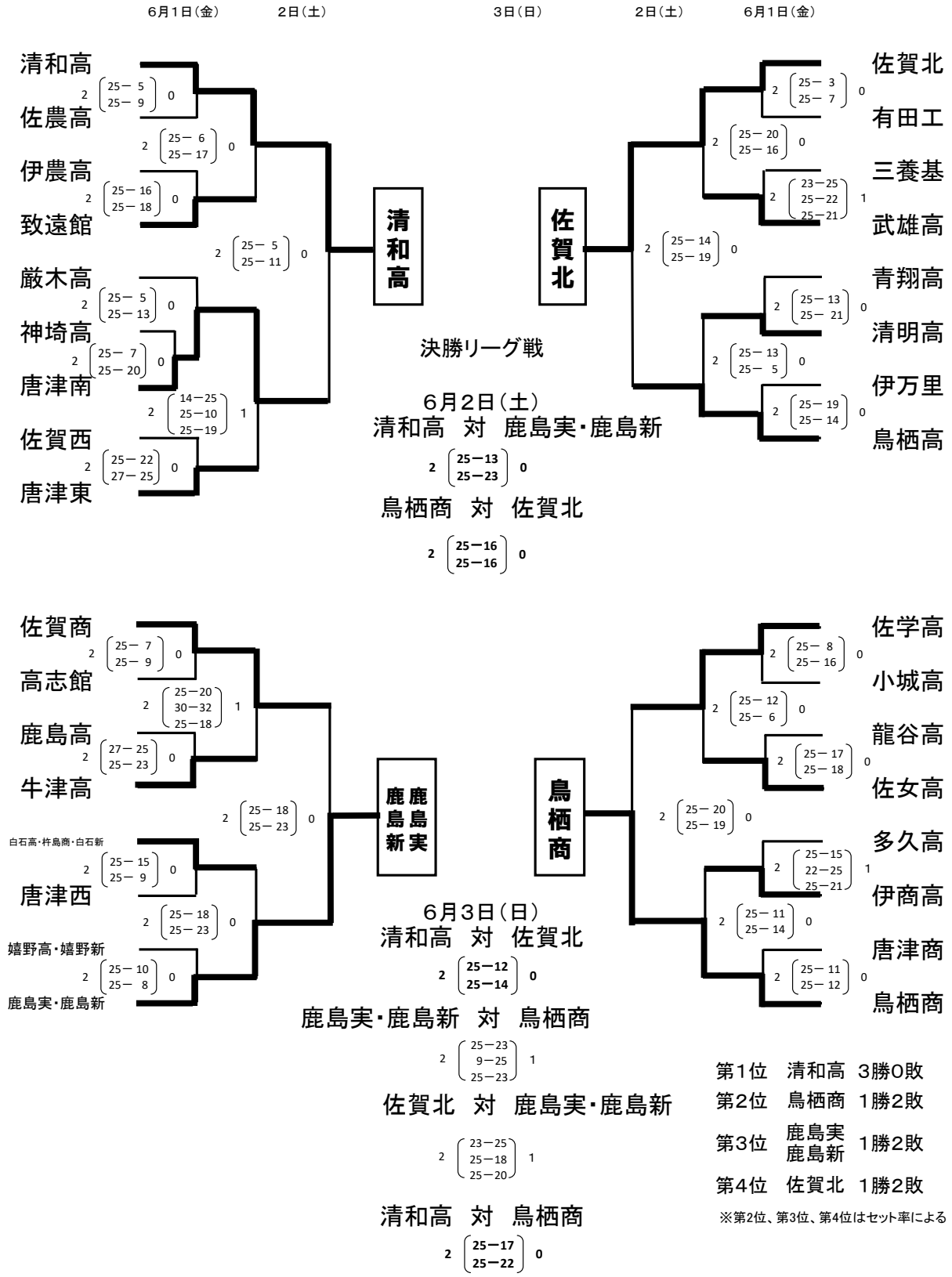
4位 鳥栖高校

佐学高 対 佐賀商

2 (25-20 / 25-17) 0

平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会バレーボール競技 結果

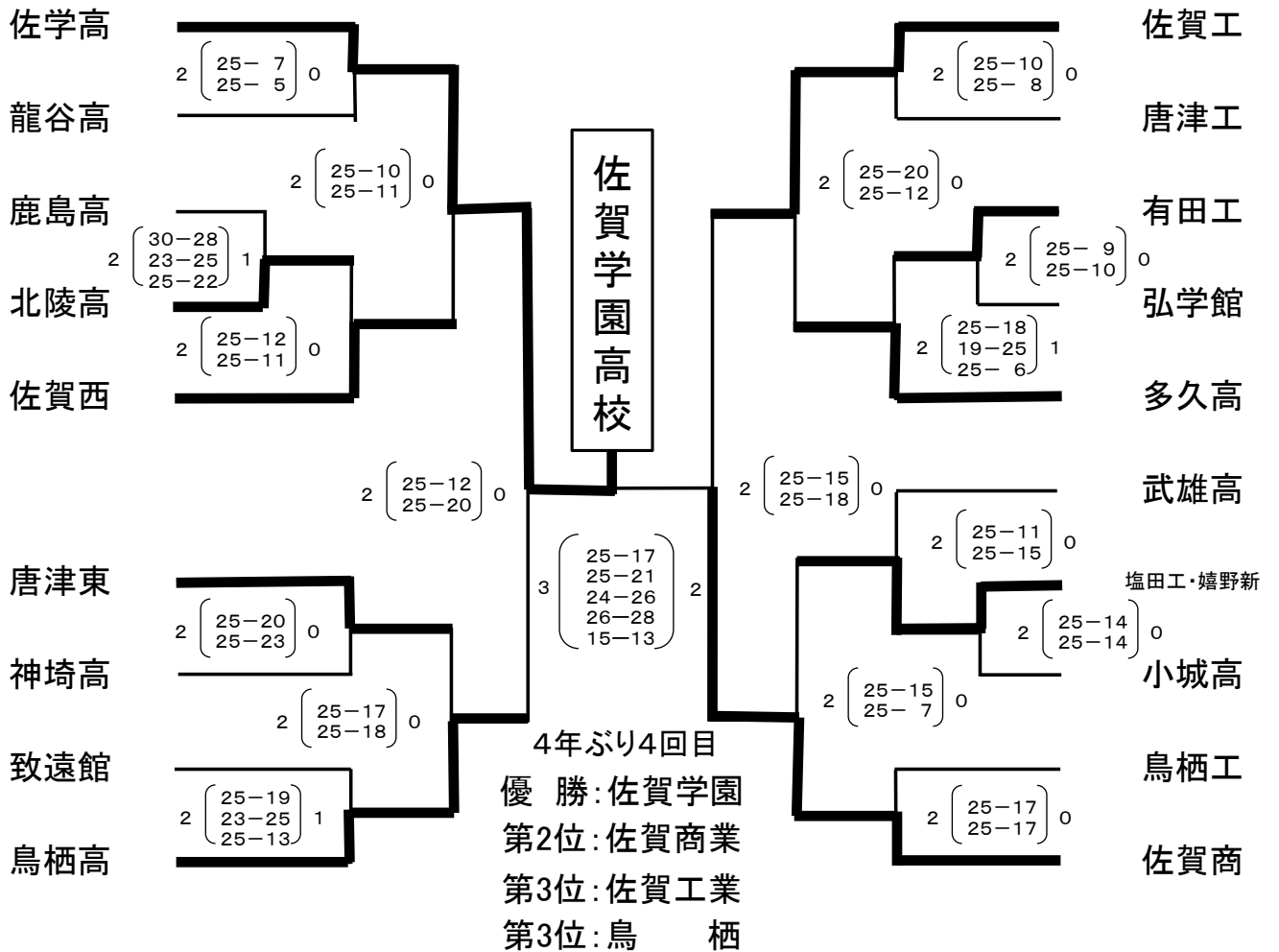
【女子】



第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選会

【 男 子 】

11月10日(土) 11月11日(日) 11月18日(日) 11月11日(日) 11月10日(土)



第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選会

【女子】



第1日目 C・Dコート・・・みやき町中原体育館
E・Fコート・・・佐賀商業高校

第2日目 C・Dコート・・・みやき町中原体育館
第3日目 特設コート・・・唐津市文化体育館